

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

西合志第一小学校
学校だより 第58号
文責 校長 西村羊治

令和6年12月19日

学び合い・支え合う児童と職員



本校の学校教育目標は、「夢を持ち、学び合い・支え合う児童の育成」です。私は、なるべく毎日全クラスの授業を参観します。その中に、とても嬉しい様子があります。「えがお」「興味津々」「積極性」

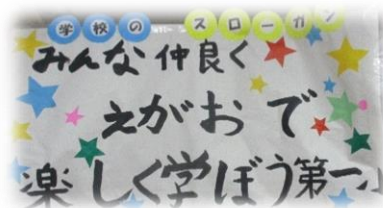


「発表」「ノートへの記入」「教え合い」「学び合い」など、がんばりや支え合い、語り合いなど、子ども達同士が、子どもと先生方が、先生方同士がつながり合っている様子を見たときは、校長としてとても嬉しく思います。



本校には、89人の児童がいます。一人一人全員が大切な児童です。人に優劣はなく、みんなが大切な存在です。一人一人が、自分に自信を持ち、自分は自分でいいんだ、自分を大切に思い自尊心を持って欲しいと思っています。そして、批判や不満を持つのではなく、すべての人を受け入れる大きな人になって欲しいと願っています。

学び合い
支え合い



職員同士も学び合い・支え合い

14,015円も

「ユニセフ(国連児童基金)」は、「世界中のすべての子どもたちが健やかに育ち、持って生まれた可能性を十分に伸ばすことができる世界の実現を目指す」国連機関です。国連予算の配分は受けず、子どもたちへの支援活動は、民間からのご寄付と各国政府などからの任意の拠出金に支えられています。「ユニセフ」とは、紛争地をはじめ世界各地で子どもの安全を確保し、心身の健康を支え、清潔な水や栄養を届けるために絶え間なく活動を続けている団体です。

きれいな水が飲めなかったり食べるものがなかったりして、世界で苦しんでいる子ども達を守っていききたいという考えです。そのためには、お金が必要です。そのための募金を西合志第一小学校の「企画委員さん」がしてくれました。

全校集会でパワーポイントを使いわかりやすく説明し、今週の3日間あさの8:00～募金活動を行ってくれました。そして、わざわざ18日の昼休みに校長室まで報告に来てくれました。「企画委員さん」から「14,015円集まったので、今度郵便局に振り込みに行っていていいですか。」とのことでした。企画委員さんをはじめ多くのみんなのやさしさが、世界の子子ども達に届くといいなあと思います。

みなさんありがとうございました。企画・運営・活動をしてくれた企画委員さん、どうもありがとうございました。



企画委員のみなさん